



KAN-ONJI CITY COUNCIL No.50 2026.8.1

観音寺市議会だより

ミライエ

6月定例会のあらまし	 2
委員会審査	 4
一般質問	 5
審議結果	10
視察報告	11



人口 55,004 人
(2026.7.1現在 内外国人1,607人)

市議会のこと、もっともっと見てみんな〜♪

観音寺市議会

検索



写真の紹介

うみびより
「海日和」

香川県立観音寺総合高等学校 3年 ささおか ここな 笹岡 心花

この写真は放課後に友達と制服のまま有明浜に行ったときに撮影しました。この日は風がなく、穏やかな海に夕日が映り込み、美しい景色が広がっていました。友達がおんぶをしてはしゃいでいる姿が印象的で、この一瞬を青春の思い出として残しておきたくて撮りました。

お知らせ

本議会だよりでは、提出議案の一部を掲載しております。その他、議案などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。



定例会が5月26日から6月16日までの22日間の会期で開かれた。一般質問では4日に7人、5日に7人が市政についてたどした。各常任委員会では付託された13議案と請願1件について審査した。最終日には、各常任委員会付託議案を原案のとおり承認・可決・同意した。また、請願1件を不採択とした。

6月定例会の主な議案

Pick up!

－議案第42号－

専決処分の承認について（観音寺市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

- 地方税法（昭和25年法律第226号）等の一部改正に伴い、子ども・子育て支援納付金に係る規定等を整備するもの。

－議案第43号－

観音寺市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について ★委員会審査

- 「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」の事業者が給付対象となるための運営基準を、国の基準に基づき条例で定めるもの。

－議案第44号－

観音寺市公民館条例の一部改正について ★委員会審査

- 公民館の休館日の規定等を「週1回」から「週2回」に改めるもの。公民館文化祭や地元関係行事等、必要と認める場合は臨時に開館する。

－議案第45号－

観音寺市観音寺共同福祉施設条例の一部改正について

- 観音寺共同福祉施設の休館日の規定を「週1回」から「週2回」に改めるもの。観音寺中央公民館と同一曜日を休館日とする。

－議案第46号－

観音寺市働く婦人の家条例の一部改正について

- 働く婦人の家の休館日の規定等を「週1回」から「週2回」に改めるもの。観音寺中央公民館と同一曜日を休館日とする。

－議案第47号－

観音寺市公園条例の一部改正について

- なぎせ公園の使用料の規定を改めるもの。



－議案第48号－

財産の取得について

- 消防ポンプ自動車を取得するもの。

3,142万円

－議案第49号－

財産の取得について

- 観音寺市立学校学習者用コンピュータ等一式を取得するもの。
中学生が1人1台使用しているタブレットについて、県の補助金を活用して更新する。
数量：1,358台 取得金額：7,543万円

－議案第50号－

令和8年度観音寺市一般会計補正予算（第1号）

地方創生応援基金費

2,024万円

- 企業版ふるさと納税制度により寄せられた寄附金について、基金に積み立て、後年の事業に活用するもの。

同報系デジタル無線整備事業

1,320万円

- Jアラートシステムが、5月下旬から新たな防災気象情報に対応したことに伴い、本市の防災行政無線の受信機に対応させるため改修するもの。

生活保護扶助費（追加分）

3,209万円

- 生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえ、対象者に生活保護費等の追加給付を行うもの。

観光施設整備事業

715万円 ★委員会審査

- 一の宮公園は開園から45年が経過し、各施設が老朽化していることから、利用者ニーズ等を踏まえたリニューアルを行うための基本計画を策定するもの。

耐震改修対策支援補助事業

460万円

- 申請者が増加し、補助金の不足が見込まれるため、増額するもの。

南・西統合公民館建設事業

5,800万円

- 土地収用法による公共事業の認定申請に向け、建設用地の取得に係る費用を補正するもの。

文教民生委員会

観音寺市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について

問 大野原こども園の「ひなたぼっこ」から始めるということだが、現在の申込み状況や今後の事業の拡大予定は？

答 現在、3名の人から希望あり。今後の需要状況によるため拡大の予定については未定。

観音寺市公民館条例の一部改正について

問 地区公民館の休館日を週2日にするということだが、市民サービスの低下を招くおそれがあるため、もっと十分な検討をすべきでは？

答 令和8年3月から利用者の意見を聞くなど、市民に不便を与えないよう調整をした上で上程した。

問 休館日週2日の曜日が地区公民館によってバラバラだが統一すべきでは？

答 地域によって実情を十分検討し設定したため、上程した曜日で進めていきたい。

建設経済委員会

観光施設整備事業（一の宮公園基本計画策定業務委託料）について

一の宮公園は、老朽化対策や現代的ニーズを踏まえた基本計画の策定が喫緊の課題である。

一方で、新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画や主要観光地との連携整理が不十分であり、重複投資を招くおそれがある。

市全体の観光戦略に整合した実効性ある計画とするため、次の附帯決議※1案が提出され、採択された。

1. 新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画との連動性を明確に示すこと。
2. 上位計画である「観音寺市観光基本計画」における一の宮公園の位置づけを明確に示すこと。
3. 市内主要観光地との有機的連携（相互作用により全体最適を生み出す関係）を明確に示すこと。
4. 市民アンケート等を通じ、市民ニーズの把握に努めること。
5. 上記の整理結果を所管委員会に報告し、委員会の意見を聴取すること。
6. 当局と委員会の相互理解を十分に醸成した上で、当該予算の執行に進むこと。

総務委員会

「消費税率一律5%減税を求める意見書」を国に送付するよう求める請願書について

（請願の要旨） 今年2月に行われた衆議院選挙で多くの党が消費税減税を公約に掲げた。国民への約束を守り、消費税減税の実現に踏み出すことが求められている。

飲食料品に対象を絞り、2年間のみとする減税案では、効果は限定的で物価高騰対策として不十分である。消費税減税は制度を複雑化させる軽減税率の品目を増やすのではなく、期限を設けない一律減税によって実行されるべきであるため、「消費税率一律5%減税を求める意見書」を国に送付するよう求める。

（賛成の意見） 物価上昇が続く状況の中、減税が実施されれば、生活負担が軽くなるのは間違いない。一方で地方消費税交付金は市の重要な財源であるため、国に対して、代替となる財源を担保することを併せて求める。

（反対の意見） 現在、政府が食料品を対象にした2年間限定の消費税減税やその後の給付付き税額控除を検討している。今後の動向を踏まえ、判断すべきである。

本市においても地方消費税交付金は重要な財源であるため、慎重な検討を重ね、判断すべきである。

消費税は社会保障の財源であるため、代替財源が明確に示されていない現時点では、賛成しかねる。

（審査結果）

意見終結後に挙手採決した結果、賛成少数により「不採択とすべきもの」とする。

※1 議会又は委員会における審議の対象である事件の議決に当たって、その事件について付随的に付けられる意見又は要望の決議のことをいう。主たる議決の条件とみなすことはできず、事実上の意見表明として、長等にこれを尊重する政治的、道義的な責務を負わせるにとどまり、法的な拘束力を有するものではない。（地方議会運営辞典より抜粋）



白川 雅仁
公明党

5歳児健診の実施と 療育体制の構築を問う

答 弁

健診に必要な専門職の確保 や療育体制の構築を進める

【質問】 専門職の確保を含む実施体制の整備について方針を伺う。

【答弁】 小学校入学前に社会性の発達や自己統制などの行動面の発達を評価し、必要に応じて医療・福祉によるフォローアップに繋げ、改善を図り、学校生活を楽しく送れるようにすることが5歳児健診の意義である。本市では二段階方式での実施を予定している。第一段階では、保護者アンケートとこども園等での様子について保育士等へのアンケートを実施。第二段階では、アンケート結果をもとに対象者を絞り、集団健診を実施する。専門職の確保については、三豊・観音寺市医師会、三豊総合病院、小児科医等の協力を得る。

【質問】 5歳児健診で重要なのは、健診そのものより、健診後に必要な支援につなげられるかどうかである。療育体制の構築をどのように進めるのか。

【答弁】 支援内容や関係機関との連携等については、観音寺市発達障害等支援連携会議の活用を考えている。また、こども家庭課を中心にカンファレンスを実施し、支援・対応方針をこども園等に伝え、日々の保育に活かすとともに、ことばの相談、幼児相談、就学前児童親子相談、巡回相談の実施や保護者への相談支援センターとの連携も推進していく。



岸上 政憲
自民新風会

道の駅とよはまにある 「結城友奈は勇者である」 自動販売機の修繕を提案する

答 弁

関係各所と修繕に向けて の協議を進める

【質問】 道の駅とよはまにある「結城友奈は勇者である」ラッピング自動販売機の傷みがひどい。生誕祭等が行われる道の駅の象徴ともいえるこのラッピング自動販売機の修繕を提案するが、市の考えを問う。



【答弁】 当該ラッピング自動販売機は、設置から8年が過ぎ、亀裂等の損傷が確認されている。貴重な観光資源であり、本市の魅力を発信する上で重要なコンテンツである。関係各所と修繕に向けての協議を進める。

ファミリーキャンプ場利用促進に向け、「アンケート調査やSNSでの情報発信」を提案する

答 弁

アンケートを踏まえ、様々な情報発信ツールを用いて広く発信していく

【質問】 ファミリーキャンプ場は、有明浜・ホースパーク・夕日の綺麗さなどの付加価値があると考えられる。利用者へのアンケート調査で実情を把握し、SNSを通じて情報を発信すべきと考えられるが、市の考えを問う。

【答弁】 ファミリーキャンプ場利用者へのアンケート調査や情報発信は、利用拡大に向けた有効な手段であると考えられる。アンケートを踏まえ、利用者の視点を取り入れたリアルな魅力を、様々な情報発信ツールで広く発信し、施設の認知度向上と利用促進に努める。



石山 秀和
公明党

就労継続支援B型 事業所の在宅支援 問題をただす

答 弁

県と連携し、適正に指導する

【質問】 利益目的の一部事業者による在宅支援の乱用事例が問題となっている。本市における国の指導に即した調査状況について伺う。

【答弁】 指定権者である県と連携し、国の通知に基づき事業所に対して適正に指導を行う。

子ども・子育て支援金制度をただす

答 弁

個人・企業を問わずすべての 経済主体が負担

【質問】 制度の周知が不足しているのではないかと。制度の概要について伺う。

【答弁】 子育て支援施策に必要な財源を個人や企業などが広く負担する制度である。医療保険と併せて負担する仕組みとなっている。

【質問】 従来の子ども・子育て拠出金との違いは。

【答弁】 拠出金は事業主のみが負担するのに対し、支援金は個人・企業を問わずすべての経済主体が負担する。

家庭ごみの有料化をただす

答 弁

負担の公平性に基つき財 源を確保する

【質問】 有料化を検討する理由と有料化の時期は。

【答弁】 ごみの排出量に応じた費用を負担する「負担の公平性」に基づき、指定ごみ袋にごみ処理手数料を含めることで、ごみ処理費用の財源確保を図るため。時期は審議会等で検討していく。



※2 一般就労が困難な障がいのある人に対し、就労や生産活動の機会を提供し、知識・能力の向上を支援する障害福祉サービス。要件を満たす場合は在宅での利用も可能。



合田 信一
自民新風会

敬老会事業のサービス低下について

答 弁 ご意見を受け、従前の内容に見直した

〔質問〕 3月市議会において、関係者や市議会への説明がないまま、敬老会事業委託料が半額に減額されていた。これは市民サービスの低下ではないか。

〔答 弁〕 本件は、関係者並びに市議会への説明が不十分であり、迷惑を掛けたことを深くお詫びする。現在は予算措置を行い、委託料を従前どおりの金額とする見直しを行った。

今後は、制度の見直しを行う際は、関係者並びに市議会へ十分に説明した上で進める。

新商品開発プロジェクトについて

答 弁 商品開発や販売方法についてのワークショップを開催していく

〔質問〕 令和7年10月から3年間の予定で、観音寺市の新たな名産品づくりに向けて、全27回の勉強会を行い、予算が2474万円と聞いている。本プロジェクトの現在の状況と今後の予定を伺う。

〔答 弁〕 本プロジェクトは、地元資源を活かした新たな名産品づくりを目的に、全27回のワークショップを通じて新商品の開発や既存商品のブラッシュアップを行うものである。現在は、商品のコンセプトづくりの段階にある。

今後は、実際に商品開発や販売方法についてのワークショップを開催していく予定である。



田中 昌人
自民新風会

介護施設について

答 弁 入所の必要を把握し、将来推計を踏まえた施設整備を協議する

〔質問〕 全国では、介護施設への入所希望者約16万人が入所できない状況とされている。観音寺市の状況と今後の見直しを伺う。

〔答 弁〕 観音寺市内には現在、特別養護老人ホームが7施設、その他の施設および居住系の介護サービスを提供する施設が16施設あり、合計23施設がある。

そのうち、特別養護老人ホームへの入所申込者は、令和7年4月1日時点で254人である。申込者の中には、すでに特別養護老人ホーム以外の介護施設に入所している人や、介護度が低い人も含まれている。また、入所希望の時期や条件、生活環境の変化など、さまざまな事情により、入所の必要性が低い人もいる。



今年度策定予定の「観音寺市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」において、実際に入所が必要な人の把握に努めるとともに、将来推計を踏まえた施設整備についても協議していく。



土田 祐司
自民新風会

新「道の駅」について

答 弁 ドッグランは一の宮公園内で整備を検討

〔質問〕 ドッグランなどの滞在型スポット設置について伺う。

〔答 弁〕 市民検討委員会作業部会での協議の結果、新「道の駅」へのドッグラン導入は、近接する一の宮公園内での整備を検討し、新「道の駅」と連携を図る方針とした。これにより、地域全体の滞在環境の向上や、愛犬家のニーズに応えることができると判断した。

また、新「道の駅」では、愛犬家が安心して施設を利用できるよう、衛生面・安全面に配慮した係留ポールを待合スペースに整備する予定である。

国道11号について

答 弁 4車線化の早期完成に向け、国へ積極的に働きかける

〔質問〕 国道11号4車線化に対する認識について伺う。

〔答 弁〕 県道・市道と一体的に整備された道路網は、高速道路の効果を最大限に活かし、市民が安全・安心に暮らすための基盤として不可欠であると考えている。

今年度も5月13日に東京で、国土交通省道路局幹部及び地元選出国會議員に対し、要望書を直接手渡した。

事業の進捗としては、三豊市側で令和5年4月に一部4車線化が完了。予算については、令和7年度は6億円、令和8年度は8億円を確保している。用地国債制度を活用し、用地取得を着実に進める。

4車線化の早期完成は、雇用創出をはじめ、地域経済の活性化や観光振興に直結する。今後も国への働きかけを積極的に続ける。





藤田 均
無所属(共産)

2つのスポーツ大会の 廃止の反対について

答 弁

関係団体と相談した結果

【質問】 6月のゲートボール大会と10月のスポーツ祭の廃止について、「楽しみにしていた」という意見もいただいている。廃止の理由とこれにかわる市民の健康増進と交流施策について伺う。



【答弁】 参加者の減少や各地区の他大会と重複等のため中止。他の大会や健康づくり事業等について周知を図る。

公民館の休館週2日の反対について

答 弁

職員の単独勤務をなくすため

【質問】 公民館の休館日が2日になると生涯学習機能が低下するのではないか。

【答弁】 休館日を土日型、日月型の2通り設け、市内全体で学習機会の確保を図り、公民館の役割は確保する。

国保税の大幅値上げ反対について

答 弁

増額要因は2つ①繰入金に頼らない国保財政の収支均衡を目指す②子ども子育て支援制度の導入

【質問】 繰り入れの継続を求む。増額の最高額と最低額は。

【答弁】 最高で6人世帯で月額約1万円、最低で月額約1600円の増。さらに「子育て支援金」の導入で月額約3000円の増。



豊浦 孝幸
自民新風会

ふるさと納税の活用 について伺う

答 弁

提案を踏まえ、調査・研究を進める

【質問】 ふるさと納税の現状と活用について伺う。

【答弁】 本市のふるさと納税による寄附額は、令和6年度に約21億円となり、平成20年の制度開始以降、寄附額は大幅に増加している。指定期間における寄附額から募集経費を差し引いた寄附金活用可能額は約13億円である。

また、前年度に積み立てた基金から約20億円を一般会計に繰り入れ、寄附者が指定する事業の財源として活用している。

【質問】 今後、さらなる寄附額の増加と産業振興を兼ねた仕組みを提案する。観音寺の一次産品を使って製造加工新商品を販売する事業者に対し、ふるさと納税の一部を活用した補助金制度等を作り、さらなる支援を行う予定はあるのか。

また、「もの消費」(日用品・家電)中心の返礼品から、観光や交流人口の増加につながる「こと消費」(宿泊、交通、観光施設等の高付加価値商品)へ移行し、新たな寄附者の獲得につなげる予定はあるか。

【答弁】 提案内容は、現在のふるさと納税制度上、実施可能であると認識している。実現に向けて、各部内で調査・研究を進めていく。



立石 珠実
無所属(国民)

JR観音寺駅と駅南側の改札口設置について

答 弁

市民や関係機関の意見を踏まえ、協議を継続する

【質問】 まちの再発展に向け、駅周辺の北側・南側を含めたまちづくりを進める中で、駅のバリアフリー化の進捗状況を伺う。

【答弁】 バリアフリー新法の趣旨を踏まえ、北側・南側双方からのエレベーター設置を中心に、四国旅客鉄道会社と協議を進めてきたが、整備手法等の課題から継続協議としていた。そこで、令和4年から駅単体ではなく「駅を中心としたまちづくりプロジェクト」を改めて立ち上げ、令和7年にはロードマップを策定し、協議を再開している。

あわせて、再整備までの間も二重投資とならない範囲で、利用者の利便性の向上を図る。

【質問】 現在、駅のバリアフリー化が進んでおらず、車椅子利用者や階段の上り下りが困難な人にとって利用しにくい状況にある。駅南側では商業施設や住宅の整備が進み、南側からの利用ニーズの増加も見込まれる。南側改札口設置やエレベーター整備など、バリアフリー化を進め、利便性向上と利用者増につなげるべきと考えるが、市の対応を伺う。

【答弁】 駅南側の改札口設置、エレベーター設置はバリアフリー化の利便性向上に寄与する手段の一つである。今後も市民や関係機関の意見を踏まえ、3大プロジェクトのなかで、一体的な整備に向けて協議を進めていく。





篠原 重寿
無所属(立憲)

交通弱者の移動手段 確保を早急に

答 弁
多様な交通手段の検討を
重ねる

【質問】市の高齢化率は2070年に44%超とされ、交通弱者への対策が急務である。昨年9月、12月議会に続き市の考え方を問う。

①運転免許を持たない75歳以上を対象としたタクシードライバー(年1万円)配布事業の状況は。②「のりあいバス」や実証実験中の「のりあいタクシー」を含めた移動手段見直し検討の状況は。

【答 弁】①7月からの申請開始に向け、調整中である。②一ノ谷、栗井地域ボランティア団体(第2層協議体)による移動支援は、地域づくりに重要な取り組みであると認識しており、継続的な支援に努める。あわせて、3月策定の「地域公共交通利便増進実施計画」に沿い、のりあいバスやタクシーを含めた多様な交通手段についての検討を重ねる。

新「道の駅」事業について、進捗に沿った見直しを示すべき

答 弁
基本計画において概算事業費の再算定を実施中

【質問】新「道の駅」は、基本設計から実施設計へと本格段階に入っている。全体事業費78億円余が示されてから2年余りとなるが、事業の進捗を踏まえ、随時、実態に即した見直しが必要では。

【答 弁】国からの交付金は、基本計画策定時より約3億円増となっている。昨今の物価上昇による工事費高騰を見込み、概算事業費の再算定を進めている。当初示した市の実質負担額19億円余を超えないよう努める。



三好 優子
無所属

職員の働き方支援と 人員配置について

答 弁
ライフプランに応じた柔軟な
働き方を検討し、働き続けら
れる職場環境の整備に努める

【質問】職員の異動希望調査はどのような項目を確認しているか。また、秘密性はどうか。

【答 弁】毎年12月頃に「勤務意向調査」を実施し、家族の看護や介護、育児の状況、職場環境や人間関係、ハラスメントの状況などについて自由記載欄を設けている。会計年度任用職員についても、休日勤務や勤務時間の希望、自由記載欄を設けている。

令和7年度からは電子申請による入力フォームへ変更し、他者に知られずに意見を記入することが可能となった。回答内容は、秘書課のごく限られた職員のみが厳重に管理している。

【質問】令和7年4月の厚生労働省「育児休業制度」における、子育て世帯がより柔軟に働けるための変更について、本市ではどのように整備しているのか。

【答 弁】令和7年9月定例会において条例改正を行い、妊娠・出産の申し出があった際には、職員に対して個別に休暇制度等の説明を実施している。今後は個別の対応に加えて、グループウェア掲示板などを活用し、柔軟な働き方について広く周知を図るとともに、気軽に相談できる仕組みづくりに努める。



金丸 康剛
自民新風会

火災被災者に対する 生活支援体制について

答 弁
住居・証明書・物資の提供や
支援等の対応を迅速に行う

【質問】本市において、突発的な災害被害に遭った市民に対する即応的な初期支援体制は極めて重要であると考え。①住居②証明書③物資の提供・支援の3点について問う。

【答 弁】①住居の確保については、市営住宅の空き住戸において、被災者の緊急的なニーズに対応できるよう、迅速な支援に努める。火災被災者の住居確保のため、政策空き家※3を確保しており、火災時には必要書類の簡素化を行った上で「り災証明書」を提出することにより、被災当日に入居手続きが可能である。

②「り災証明書」については、三観広域行政組合が火災事実確認を行った後、「り災証明書」を原則として即日発行している。

③生活再建に向けた物資の提供・支援については、被害状況に応じて弔慰金・見舞金を支給している。また、日本赤十字社香川県支部から災害見舞金・弔慰金やタオル・歯ブラシ・懐中電灯等の緊急セットや毛布が支給される。香川県共同募金からも災害見舞金・弔慰金の支給がある。今後も関係団体と連携し、被災者の支援に努める。



※3 市営住宅において、市が計画的に入居者の募集を停止している住戸。



岡崎 洋祐
無所属

地区公民館の休館日 について

答 弁

休館日を週2日とする

〔質問〕 令和8年4月から「週2日休館」の試行運用を行っているが、試行の目的とそれに至った経緯を伺う。

〔答弁〕 現在、公民館の休館日は週1日であるが、職員配置が2人のため、週休日を2日取得すると職員が1人で勤務する状況が生じている。そのため、来館者対応において利用者に不便をかける場合があるほか、緊急時対応の面でもリスクが課題となっている。こうした課題の解消を図る方策として、休館日を週2日とし、開館日は原則2人による勤務体制とすることで、単独勤務を減らし、来館者対応等の質の向上を図るとともに、運営上のリスクを低減し、利用者の安全・安心の確保に努めたいと考える。

母子保健対策について

答 弁
丁寧の説明し、理解が得られるよう努める

〔質問〕 令和7年度に実施していた事業のうち、令和8年度から廃止または縮小した事業と、その理由を伺う。

〔答弁〕 廃止した事業は、「母子保健推進員」と「もぐもぐレッスン」の2事業、縮小した事業は、「育児相談」と「たんぽぽサークル」の2事業である。

廃止の理由は、相談実績がなかったり、参加者が減少したりしたためである。

縮小の理由は、限られた予算や人員の中で、支援が必要な子どもや妊婦に対する個別の支援計画の策定・更新に加え、支援が必要な家庭に確実に支援が届く体制へ重点を移していく必要があるためである。



合田 隆胤
自民新風会

市民負担中四国最大級が想定 される新「道の駅」関連お よび市民サービスについて

答 弁

明確な数字の提示はなし

〔質問〕 新「道の駅」のために、1年あたり1億6700万円の一般財源が必要。さらに、指定管理料2800万円やその他費用を加味すると、収入が増加しなければ市民サービスが低下するのではなか。福祉費・人件費など義務的経費削減のリスクも想定される。収入増加の見込みと根拠は。

**維持管理は市民負担!!
子どもたちに責任を負わず!!**

項目	金額
管理費	約15,7万円
指定管理料	約2,800万円
その他費用	約230万円
合計	約3,000万円

※収入増加の見込みは、道の駅開設後、利用客の増加によるもの。

〔答弁〕 (明確な答弁なし)

〔質問〕 地方自治法第2条第14項※4を知っているか。最大税収増が年間150万円程度の計画が「最少の経費で最大の効果」に該当するのか。

〔答弁〕 (明確な答弁なし)

〔質問〕 住民投票を行うべきでは。

〔答弁〕 住民投票を行う意向はない。

観音寺市の一次産業の未来について

答 弁
明確な数字の提示はなし

〔質問〕 物価上昇等により現場の生産者は苦しんでいる。一次産業の未来像について具体的な数字を用いた答弁を求め。

〔答弁〕 (明確な答弁なし)



スマートフォンやタブレットで 議会映像をぜひご視聴ください

市議会では、一般質問を含む本会議の様子をインターネットで生中継・録画放映しており、パソコンやスマートフォン、タブレットなどで気軽にご視聴いただけます。

各質問者の録画映像を視聴しやすくするために、質問者ごとにQRコードを掲載しておりますので、ぜひご活用ください。



※4 地方公共団体は、その事務を処理するに当つては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。

掲載できなかった個人質問

氏 名	質 問 件 名
白川 雅仁	●加齢性難聴予防の推進について ●少子化に伴う中学校再編と老朽化した校舎への対応について
岸上 政憲	●防災ラジオについて ●学校・こども園等のバス利用について
石山 秀和	●医療制度改革法案について ●子どもの移動の安全確保策について
合田 信一	●新「道の駅」の現状と今後の予定について
詫間 茂	●老老介護について ●子どもの貧困率について ●後期高齢者医療について ●医療費について

氏 名	質 問 件 名
土田 祐司	●企業誘致について ●都市計画について
藤田 均	●大野原図書館の音楽室等の使用料が大幅に上がることについて ●新「道の駅」について ●伊吹フェリーの機関トラブルによる欠航について ●市道下木屋豆塚線の今後の改修について
豊浦 孝幸	●庁内DXについて
篠原 重寿	●障がい者施策について
岡崎 洋祐	●審議監について
合田 隆胤	●公民館施設の休館について ●北朝鮮による拉致被害者に対しての佐伯市長の考え方や取り組みなどについて

議案の審議結果

令和8年第2回（6月）定例会

※提出議案などの詳細は、市議会ホームページ「提出議案等」をご覧ください。

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第40号	専決処分の承認について（観音寺市税条例の一部を改正する条例）	承 認
議案第41号	専決処分の承認について（観音寺市都市計画税条例の一部を改正する条例）	//
議案第43号	観音寺市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第47号	観音寺市公園条例の一部改正について	//
議案第48号	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	同 意
議案第49号	財産の取得について（観音寺市立学校学習者用コンピュータ等一式）	//
議案第51号	令和8年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第52号	令和8年度観音寺市下水道事業会計補正予算（第1号）	//

●賛否の分かれた議案

※議長には可否同数の場合のみ裁決権があります。
※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 除…除斥 退…退席

議 案 名 等		議 員 名																		議決結果
		三好	藤田	立石	篠原	岡崎	白川	石山	豊浦	土田	立石	詫間	篠原	合田	合田	岸上	金丸	大矢	大平	
		優子	均	珠実	重寿	洋祐	仁和	秀和	孝幸	祐司	隆男	茂	和代	隆胤	信一	政憲	康剛	一夫	直昭	
		無	無共	無国	無立	無	公明党	自民新風会												
議案第42号	専決処分の承認について（観音寺市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	一	承認
議案第44号	観音寺市公民館条例の一部改正について【可否同数のため、議長裁決により原案可決】	○	●	●	○	●	○	○	○	●	○	欠	○	●	●	●	●	○	一	原案可決
議案第45号	観音寺市観音寺共同福祉施設条例の一部改正について【可否同数のため、議長裁決により原案可決】	○	●	●	○	●	○	○	○	●	○	欠	○	●	●	●	●	○	一	//
議案第46号	観音寺市働く婦人の家条例の一部改正について【可否同数のため、議長裁決により原案可決】	○	●	●	○	●	○	○	○	●	○	欠	○	●	●	●	●	○	一	//
議案第50号	令和8年度観音寺市一般会計補正予算(第1号)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	一	//
請願第1号	「消費税率一律5%減税を求める意見書」を国に送付するよう求める請願書	○	○	●	○	○	●	●	●	●	●	欠	●	○	●	●	●	●	一	不採択

※会派別五十音順 ※会派に所属していない議員…立憲民主党、日本共産党、国民民主党、無所属

広聴広報委員会 視察報告

■福井県鯖江市（令和8年4月20日）

＜研修項目＞

◆各種団体と議会の語る会について◆中学生と議員の語る会について◆市議会報及び市民アンケートについて

PTA連合会、暮らしをよくする会、聴覚障害者友の会など幅広い団体と議会報告会を開催している。特に中学生との意見交換会では、若い世代からの意見聴取をするとともに、主権者教育の観点でも成果を上げている。市議会報については、内容がより分かりやすくなるよう、予算などを家計簿に見立てて掲載するなどの工夫がなされていた。また、市議会報に関する市民アンケートを実施し、市民から客観的な意見を聴取することで、改善につなげている。

今後取り入れること

- 議員自ら積極的に意見を聴取する取り組みを進める。
- 意見交換の際は、意見を出しやすい環境・服装で応じる。

■三重県四日市市（令和8年4月21日）

＜研修項目＞

◆ワイ！ワイ！GIKAIについて◆高校生議会について◆市議会モニターについて

◆市議会だよりについて◆市民意見募集（議案への意見や所管事務調査テーマ等）について

中学生から大学生までの若い世代から意見聴取するため、「ワイ！ワイ！GIKAI」という出前型の意見交換会を、各常任委員会が年1回以上開催している。高校生については、「高校生議会」も開催しており、高校生議長の選出から始まり、意見書の作成、本会議で報告・採決まで行っている。一連の流れは実際の議場で実施され、採決には議場のシステムを使用するなど、本格的な議会運営を体験できる内容となっている。また、市民に「市議会モニター」として参加していただき、議会運営や広聴広報活動を実際に見てもらうことで、議会改革に向けた意見を効果的に聴取している。議案への意見や所管事務調査テーマ等については、市議会モニターに限らず、メールやFAXなどにより誰でも意見を提出できる仕組みとなっている。市議会だよりについては、「高校生議会」などを表紙の特集として取り上げる工夫や、小・中学生向けの「子ども号」を発行するなど、幅広い世代に親しみやすい広報に取り組んでいる。

今後取り入れること

- 「子ども号」を発行し、幅広い世代にも市議会の仕事を理解してもらう。
- 市議会だより委員会質疑などを掲載し、議会の動きをもっと市民の人に知ってもらえるようにする。



建設経済委員会 視察報告

■東京都大田区東京青果株式会社（令和8年5月11日）

◆観音寺市から出荷している野菜及び果樹の流通について

大田市場は東京都中央卸売市場（8市場）のうち、青果の約56%、花きの約63%を占める。東京青果株式会社は、大田市場を拠点とする日本最大の青果物卸売会社である。

近年は、市場を介さない産地直送が広がり、鮮度・コスト面で優位とされる一方、市場経由には代金回収リスクを市場が吸収し未回収が起きにくい利点がある。また、肥料等の高騰で産地コストが上昇する一方、市場取引単価の上昇は限定的で、価格転嫁が追いついていない。加えて、輸入品との競争や制度と実務の乖離も課題として指摘された。

観音寺市には、安定供給の確保、規格の統一、産地の見える化の推進、ブロッコリー等の有望品目への戦略投資が示唆された。

■茨城県境町道の駅さかい（令和8年5月12日）

◆道の駅さかいと境町の観光について

「道の駅さかい」は、町外から訪れる観光客が休憩や情報収集、飲食、土産購入を行う「観光の玄関口」である。一方、運営している「さかいまちづくり公社」は、その拠点機能を事業として具体化し、売場づくりや商品開発、イベントの企画、情報発信、地元事業者との連携を担う。道の駅を単なる立ち寄り地点にとどめず、季節ごとの企画や特産品の打ち出しにより目的来訪を促し、町内周遊や消費拡大につなげる点に、両者の関係がある。これにより境町は、受入体制と稼ぐ仕組みを一体で強化できる。

■静岡県袋井市（令和8年5月13日）

◆2961スマート農業プロジェクトについて

高齢化の進行に伴い、農家および農業従事者が減少しており、担い手の確保が急務となっている。このため、イノベーションの展開を通じた農業基盤の強化が不可欠である。

本プロジェクトでは、米・茶・施設園芸の各分野において、無線ネットワークを活用したスマート農業を導入し、「2961スマート農業ラボ」の体制の下で事業を推進している。行政、民間事業者、大学が一体となり、リビングラボ※5の手法を用いて、共創により取り組んでいる。

※5 生活空間（Living）と、実験室（Lab）を組み合わせた造語で、社会課題の解決や、新しい価値を生み出すために、市民・企業・研究者・行政などが共にサービスを創る（共創する）こと。



市民と議員の意見交換会

オープンカフェ『ミライエ』

リラックスして話せる対話の場・みんなで語ろう観音寺市の未来

日時 11月13日(金) 19:00～

会場 ハイスタッフホール 多目的ホール



内容 市民の皆さまが市政に求めるご意見をお聞かせください。
テーマに沿って市議会と意見交換を行い、今後の市政に活かします。

詳細については後日、市ホームページやSNS等でお知らせいたします。

編集後記

6月定例会の一般質問では、市民生活に直結する課題について、14名の議員が登壇し、46項目にわたり質問しました。

広聴広報委員会では、8月8日に「中学生との意見交換会」を実施します。これからの未来を支える観音寺市の子どもたちと意見交換ができることを楽しみにしております。次号以降の議会だより等で開催の様子をご報告できればと考えております。また、11月には社会人の方を対象とした意見交換会も企画していますので、ご参加お待ちしております。詳細は随時ホームページやSNSにてお知らせいたします。

これからも議会を身近に感じていただけるよう、また「開かれた議会」となるように取り組んでまいります。議会だよりが、市政をより身近に感じていただくきっかけとなれば幸いです。今後とも、市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

広聴広報副委員長 土田 祐司

9月定例会の予定

25日	14日	11日	10日	8・9日	1日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議

広聴広報委員会

委員長	岸上 政憲
副委員長	土田 祐司
白川 雅仁	
金丸 康剛	
岡崎 洋祐	
立石 珠実	
合田 信一	

